

令和4年 8月8日

東員町議会 広報広聴委員会委員長 広田 久男 様

東員町議会 広報広聴委員会

副委員長 山崎 まゆみ

広報広聴委員会 研修報告書

研修期間	令和4年 7月 29日（金）
研修（視察）先	三重県自治会館 （津市）
目的（テーマ等）	三重県市町議会広報研修会 ～住民に読まれ、伝わる議会の存在感を高める、 議会広報の基本と編集～
資料添付の有無	無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページ

研修概要、内容、所感

《研修概要～演題・講師》

三重県市町議員広報研修会

『住民に読まれ、伝わる議会の存在感高める』

議会広報の基本と編集』

講師；芳野 政明さん

(埼玉県コミュニティセンター理事長、
議会広報サポーター)

《研修内容》

I、議会報発行の意義・目的

(1) 議会報発行の目的を明確に

- 誰のため、何のための広報か
- 住民が知りたいこと、伝えたいことを繋ぐ
- 情報共有から、参加・参画へ～コミュニケーションツール

☆住民自治の原則 → 住民自治の本旨

- 議会からは、住民参加の促進
- 行政からは、住民との協働・情報公開

(2) 広報を基幹活動と位置付ける

～地方議会は、住民参加が前提の機関～

どんなにすばらしい議会活動も、それを住民が知らなければ、評価は無きに等しい。
議会の活動が住民に伝わって理解されるまでが、議会の責任！

(3) 地方議会、本来の課題

情報・意見の集約機構としての議会

- 政治争点 ●政策情報 ●政治家の選別 ●長・行政機関の監視
- 政策立案・改定・評価

(4) 開かれた議会

- 住民に見える ●住民の意見を聴く

(5) 議会報の企画

- ①住民の意見・要望から、政策提案
- ②議案審議の見える化
- ③議会活動を住民と共有
- ④一般質問での行政監視と政策提言
- ⑤関心の高い、優先度の高い課題の議会の視点を伝える
- ⑥主権者教育

(6) 目的を持つ 「編集方針」

(7) 議会報の4大企画

- ①住民の声 ②議案審議 ③一般質問 ④議会活動（視察、調査、委員会活動）

(8) 伝わる広報のためのスキル＝①読者の立場②ツカミのある紙面―見出しと写真

(9) ラフレイアウト、レイアウト

●レイアウトの5要素＝①見出し ②リード文 ③写真、図表 ④記事本文
⑤余白（ホワイトスペース）

(10) 写真―キャプションつける

(11) 見出し―NG 見出し（ついて、金額、名称、議案名、漢字だけ、概要、結論）

(12) 予算決算は議会報告で最重要

(13) 議会制度や運営ルール、用語解説

(14) 住民登場を多彩に

①わかりやすく

②議事経過、議事公開

③読みやすい

ii、議会広報クリニック

（県内 11 自治体議会報のクリニック）

《研修所感》

住民参加型広報紙で、“開かれた議会”を目指す。というテーマでの議会広報コンクールにはほぼ毎年、「とういん議会だより」も出品していて、芳野先生の講評も過去にいただき、議会広報委員会での編集に反映できるところは可能な限り、反映し改善してきています。その成果を今回の県内の議会報クリニックでの芳野先生の講評は、まずまずでした。講師先生から高評価をいただくと、とても励みになり、一層向上心が上がります。改善すると良いという項目を掲げていただいたので、今後の編集作業に活かしていきたいと思います。

議会に興味を持っていなかった町民に、関心を持っていただけるようにもなると思います。紙面での議会だより配布も、PDF をウェブサイト公開もしているので、多様な媒体で、町民の多くの皆さんに議会の情報が伝えられることを目指して、わかりやすく、興味を持っていただきやすい内容の議会だよりの編集を心がけていきたいと思います。広報の研修で講師の先生がたびたび言われることが「“伝える”ではなくて、“伝える”ことです」と。「伝える」の主語は自分であるが、「伝える」の主語は相手です。わかり易く情報を届けられることを最優先に、どんどん紙面の改革をしていくべきだと思います。

住民代表である議員が執行部に対してしっかりと声を届けているか、執行部の見解はどうなのかを住民の皆さんが理解してもらえたら、自分たちが暮らす町に興味関心を持ってもらえ、愛着をもってもらえことができます。

そこで自分が思うには、Line は全世代で 90%以上の利用率と聞くので、議会も積極的に Line を活用できるよう検討してみる、挑戦してみたいと思います。さらに YouTube の利用者は全世代で 85%以上になっているので、議会中継のリアル動画配信を見ていただける人が増えると良いです。議会に関心を寄せていただく人が増えれば、「議員のなり手不足」の解消にもつながると思います。女性や若者層が議会に感心を寄せて、もらう確率が増えれば、多様な議員が生まれます。広報広聴委員会のメンバーで、今後も挑戦し続けたいと思います。広報編集の具体的ポイントを学習出来て有意義でした。